

「くまもと新時代共創基本方針及び総合戦略」【概要】

くまもと新時代共創基本方針の概要

<期間> 令和6年度(2024年度)～令和9年度(2027年度)

1 策定の趣旨

<基本方針の位置付け>

- ・県政における最上位の方針。県政運営の基本的な考え方を示すもの。
- ・別に定める「くまもと新時代共創総合戦略」と合わせて「熊本県版総合戦略」を構成し、地方創生の取組みを推進。

2 取り巻く環境の変化

(1) 人口の動向

少子化と人口減少

(2) 半導体関連産業の更なる集積

TSMCの県内進出と半導体関連産業の更なる集積

(3) 海外との交流の加速化

訪日旅行者及び外国人住民の増加

(4) 災害からの復旧・復興、災害に強い県土づくり

熊本地震、令和2年7月豪雨災害からの創造的復興

(5) デジタル化の進展

社会のデジタル化と国、熊本県における取組み

(6) SDGsの浸透

SDGsの意識浸透と県内登録事業者の拡大

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の成果と課題 (R2～R5)

(成果) ・熊本地震及び令和2年7月豪雨災害からの創造的復興

・新型コロナへの対応と産業の振興、地域活性化

・TSMCの県内進出に伴う周辺環境の整備

(課題) ・少子化、人口減少の進行

3 基本理念

県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を共に創る

～世界に開かれた熊本、世界へ羽ばたく熊本～

世界に広がる (国際)

・国の経済安全保障政策の中核となる世界的な半導体関連企業の進出も踏まえ、地域活力の創生に向けた取組みを推進。人・モノ・ビジネスの国際的な交流も加速・拡大。

・熊本県の強み(農林畜水産業、バランスの取れた産業、自然環境、防災力等)を更にステップアップさせ、世界に挑戦する県、「くまもと新時代」を目指す。

人を育てる (人材)

・地域活力に不可欠な「人材」の育成と、若者や高齢者、障がいのある人、女性など全ての人自分らしく輝くことのできる社会を実現。

・個性と力を発揮できる「活躍の場」の創出を進め、さらなる「人材」の流入も促進。

共に創る (共創)

・こうした考えに基づき、「県民が主人公の県政」を進め、県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を県民の皆様と共に創る。

実現

4 取組みの基本的方向性

1 こどもたちが笑顔で育つ熊本

2 世界に開かれた活力あふれる熊本

3 いつまでも続く豊かな熊本

4 県民の命、健康、安全・安心を守る

5 緑の流域治水の推進と五木村・相良村振興、水俣病問題への対応

(1) “命と清流を守る”緑の流域治水の推進と五木村・相良村振興

・流域全体の総合力で安全・安心を実現する「緑の流域治水」の推進

・“命と清流を守る”新たな流水型ダムの整備推進

・流水型ダムの建設により影響を受ける五木村・相良村の振興

(2) 水俣病問題への対応

・公健法に基づく認定審査 ・被害に遭われた方々に対する療養の支援、日常生活の支援

・地域の融和対策の推進と水俣病の経験や教訓の発信、継承 ・健康調査についての国への協力

・水俣・芦北地域振興計画に基づく振興施策

施策を支える行財政運営、DXの推進、市町村との連携

くまもと新時代共創総合戦略の概要

「基本方針」に基づく施策の具体化

<総合戦略の位置付け> 別に定める「くまもと新時代共創基本方針」を具体化するための施策、取組み等を取りまとめたもの。 <期間> 令和6年度（2024年度）～令和9年度（2027年度）

<施策・取組み>

<p>1 こどもたちが笑顔で育つ熊本</p> <p>(施策1)こども・若者がキラキラ輝く社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「こどもまんなか熊本」の実現とこども・若者のライフステージに応じた支援 ②特に支援が必要なこどもへの支援 <p>(施策2)家庭や子育てに夢を持てる社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①希望を叶える結婚・妊娠・出産への支援 ②家庭のニーズに応じた子育て支援 <p>(施策3)質の高い教育・未来を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①変化の激しい時代に対応した教育の推進 ②インクルーシブ教育システムの推進と多文化共生社会の実現 ③グローバル人材の育成 ④県立高校の魅力向上 ⑤私学の振興 	<p>2 世界に開かれた活力あふれる熊本</p> <p>(施策1)「くまもとで働く」人材の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大学等と連携した人材育成 ②様々な分野の人材確保 <p>(施策2)世界に伍する産業拠点熊本の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ①半導体を中心とした新たな産業基盤の構築 ②「くまもと版スタートアップ・エコシステム」の創出 ③地域経済の振興 ④DXの推進 ⑤ビジネスの国際化・国際交流の促進 <p>(施策3)「食のみやこ熊本県」の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農林畜水産業の担い手確保・育成 ②稼げる農林畜水産業の実践 ③食育の推進・食文化の発展 <p>(施策4)スポーツ、観光、文化芸術の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ政策の推進 ②観光振興 ③文化芸術の振興 <p>(施策5)交通の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①交通渋滞解消 ②交通体系の見直し ③熊本空港の活性化 	<p>3 いつまでも続く豊かな熊本</p> <p>(施策1)豊かな自然の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ①水資源をはじめとした環境保全 ②ゼロカーボン社会及び循環型社会の推進 <p>(施策2)移住定住、関係人口創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ①移住定住、UIJターンの促進 ②魅力の発信、関係人口創出 <p>(施策3)魅力ある地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市町村との連携・地域特性を踏まえた地域振興 ②地域における移動手段の確保 <p>(施策4)社会の多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人権教育・啓発の推進 ②多様な主体の社会参画 ③動物愛護の推進 	<p>4 県民の命、健康、安全・安心を守る</p> <p>(施策1)「緑の流域治水」を核とした創造的復興</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「緑の流域治水」の更なる推進による一日も早い安全・安心の実現 ②若者が“残り・集う”産業・雇用の創出 <p>(施策2)災害に強い県土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災力の強化 ②防災・減災、国土強靱化に資するインフラ整備 <p>(施策3)健康で長寿な社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人生100年時代の充実に向けた体制づくり ②地域共生社会の実現 ③健康危機に強い熊本 <p>(施策4)安全・安心の地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各種防犯対策、県民生活を脅かす犯罪の取締り等の推進 ②犯罪被害者支援 ③交通安全意識の普及啓発の促進 ④消費者被害の未然防止 <p>(施策5)水俣病問題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公健法に基づく認定審査 ②地域の保健医療福祉の充実 ③水俣・芦北地域の振興
---	--	--	--

主な重要業績評価指標 (KPI) 一覧

<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある児童生徒の割合(小学校・中学校) ・子育てができる・したいと思える環境が整っていると感じる県民の割合 ・「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と思う児童生徒の割合(小中学生) ・探究的な学びにおいて、整理や分析を踏まえて、自分の考えを分かりやすくまとめ、発表した生徒の割合(高等学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライト企業に就職した新卒学生数 ・製造品出荷額 ・半導体関連産業生産額 ・6次産業化関連販売金額 ・観光消費額 ・渋滞時における自動車の平均旅行速度 ・セミコンテックパーク周辺の渋滞解消に寄与する道路整備の進捗 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体関連企業の集積を見据えた地下水かん養対策によるかん養量 ・廃棄物の再生利用率 ・国内間の社会増減 ・阿蘇の草原面積 ・固定的性別役割分担意識に同感しない県民の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川水系河川整備率 ・高規格道路の整備進捗率 ・緊急輸送道路の防災点検要対策箇所の整備箇所数 ・土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数 ・日常生活動作が自立している期間の平均 ・介護ロボット・ICT機器を導入している入所系施設の割合 ・刑法犯認知件数
---	---	---	--

【推進体制】KPIを活用し、PDCA(計画、実行、評価、改善)やOODA(観察、判断、決定、行動)、有識者による評価を行い、進捗を可視化・管理する。